

令和 6 年 1 月 29 日

## 県立相模原公園におけるインクルーシブな広場「ともいき広場」の整備について

## 1. 概要

県立相模原公園では、共生社会の実現に向けて、「神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例～ともに生きる社会を目指して～」の理念を踏まえ、誰もが一緒に遊べる遊具のあるインクルーシブな広場「ともいき広場」の整備に向けて、検討を進めている。

この広場の計画作成にあたっては、障がいのある当事者や支援者等を構成員とするワーキンググループを立ち上げ、計画作成の初期段階から当事者等の意見をお聞きし、ともに計画を作り上げていく手法を採用している。

## 2. 検討経緯

- 7月14日 県立相模原公園での「ともいき広場」の整備を公表（知事定例会見で発表）

- 7月25日 **第1回ワーキンググループの開催【資料3-2】**

参加者：障がい者支援団体（2団体）、特別支援学校（2校）、指定管理者、遊具メーカー  
内 容：事業概要の説明、現地調査、意見交換

- 9月22日～10月10日 **アンケート①（当事者及び支援者等）の実施**

対象者：特別支援学校・児童発達支援センター等に通う障がい児の保護者と教職員等  
目 的：公園に求めるもの、公園での遊び方などについて、意見聴取

- 11月1日～11月12日 **インクルーシブな遊具体験会の開催**

**アンケート②（利用者）の実施**

参加者：体験会は、子ども（障害児を含む）と大人（保護者）合わせて約3,700人が参加  
アンケートは、保護者の方、約1,000人から回答

目 的：子ども達に実際にインクルーシブな遊具に触れ、遊んでもらう

楽しかった遊具、設置してほしい遊具等を聴き取り、今後の遊具選定の参考とする

- 11月8日 **第2回ワーキンググループの開催【資料3-3】**

内 容：アンケート①の速報、遊具体験会の視察、意見交換

（アンケートでの主な意見）

- ・求める遊びの要素として、特に滑る遊びや揺れる遊びが多く求められていた。
- ・遊具以外の配慮事項として、安全性への配慮や広場の見通しのよさ、ベンチや屋根付きの休憩所等が望まれていた。

- 1月29日 **神奈川県公園等審査会に報告**

- 2月 **第3回ワーキンググループの開催**

内 容：アンケート結果等をもとに作成した「計画案たたき台」について意見交換

### 3. 今後のスケジュール（予定）

- ・ 2月頃 アンケート③（当事者や利用者等）の実施  
目 的：計画（WG案）に対して意見聴取
- ・ 3月頃 第4回ワーキンググループ開催  
内 容：計画（最終案）について意見交換、計画（最終案）のとりまとめ
- ・ 令和6年度 実施設計、広場整備  
※工事実施において、クラウドファンディングの活用を想定

#### （参考）県のこれまでの取組事例

①県立湘南海岸公園（藤沢市）【R3.3完成】



事業期間：(R1) 調査 (R2) 関係者との対話、設計、工事  
対 話 先：市)障がい福祉課、児童発達支援センター、  
肢体不自由者児父母の会

②県立あいかわ公園（愛川町）【R5.3完成】

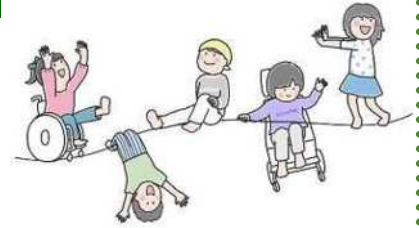


事業期間：(R2) 調査 (R3) 関係者との対話、設計 (R4) 工事  
対 話 先：町)半原小学校教員  
特定非営利活動法人フュージョムかながわ・県肢体不自由協会

## ワーキンググループ(第 1 回)

おこな  
を行いました!けんりつさがみはらこうえん ひろば  
県立相模原公園「ともいき広場」づくり ワーキンググループ

けん さがみはらこうえん しょう しょうきょう ていど  
県では、相模原公園に、障がいの状況や程度にかかわらず  
だれ いっしょ あそ ゆうぐ ひろば  
誰もが一緒に遊べる遊具のあるインクルーシブな広場※「ともいき  
ひろば  
広場※」を整備することとしました。



こんかい しょう どうじしゃ しえんしゃ けいかく  
今回、障がい当事者や支援者などと、計画を作るところから  
いけん こうかん つく  
意見を交換し、ともに作っていくためにワーキンググループを設置しました。

※インクルーシブは、英語で「すべてを含んだ、包括した」という意味があり、インクルーシブな広場とは、障がいの  
じょうきょう ていど  
状況や程度にかかわらず、だれ いっしょ あそ ゆうぐ  
誰もが一緒に遊べる遊具のある広場です。

※県が実現をめざす「ともに生きる社会かながわ」から「ともいきひろば」としました。

◆ かいさいがいよう  
開催概要

にち じ れいわ ねん がつ にち かようび じ じ ふん  
日時：令和 5 年 7 月 25 日（火曜日）14 時から 16 時 30 分

ば しょ けんりつさがみはらこうえん けんしゅうしつ  
場所：県立相模原公園 研修室

さんかしゃ ほうじんさがみはらしょうがいじしやふくしだんたいれんらくきょうぎかい  
参加者：・ NPO 法人相模原市障害児者福祉団体連絡協議会

ほうじん けんしたいふじゆうじきょうかい  
・ NPO 法人フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会

けんりつさがみはらしえんがっこう  
・ 県立相模原支援学校 P T A

けんりつさがみはらしえんがっこう  
・ 県立相模原支援学校

けんりつさがみはらちゅうおうしえんがっこう  
・ 県立相模原中央支援学校

けんりつさがみはらこうえんしていかんりしや  
・ 県立相模原公園指定管理者

だんたい あつ  
6 つの団体にお集まりいただき、  
かいめ かいぎ ひら  
1 回目の会議を開きましたので、  
がいよう ほうこく  
その概要を報告します。

◆ いちず  
位置図

## ◆ ワーキングの内容

### 【県立相模原公園における「ともいき広場」の整備について】

県から、ワーキンググループを設置した目的やスケジュール、広場の整備を予定している場所などについて、説明しました。

### 【インクルーシブな遊び場の取組事例紹介】

公園の計画を考へる会社の人や、公園の遊具を作る会社の人から、インクルーシブな遊び場づくりのポイントや取組事例の紹介を聴き、理解を深めました。

### ●インクルーシブな遊具の代表例



寝ころんだ状態でも乗れるブランコ



くるまですこののこいでんゆうく  
車椅子の子でも乗りやすい回転遊具

### ワーキングの様子



### 【現地調査・意見交換】

広場の整備を予定している場所のほか、駐車場や休憩所、トイレなどの周辺施設も含めて、実際に現地を見て、気づいた点などを意見交換しました。

### ●主な意見

- ・広場の整備予定地は、周りに樹木があり木陰も多くとても良い。芝生も広く、花もきれい。
  - ・障がい者用の駐車場所を増やしてほしい。
  - ・日陰にベンチなどの休憩施設を増やしてほしい。
  - ・公園の案内板の文字が小さく、わかりづらい。
  - ・整備する遊び場までの誘導サインがほしい。
  - ・ベンチやスロープに手すりがほしい。
  - ・シンボルになる遊具があるとよい。
- などのご意見をいただきました。



駐車場



休憩所



広場の整備予定地



解説の様子

## ◆ 今回のまとめと今後の予定

より多くの方からご意見をお聴きして計画を作っていくため、今後、アンケートや遊具の体験会などを行うこととなりました。次回の会議は、秋頃に開かれる予定です。

### ◆問合せ先

神奈川県厚木土木事務所津久井治水センター 工務課公園班 電話 042-784-1111(代表) 令和5年8月

ワーキンググループ(第2回) おこなを行いました!

## かいさいがいよう

## ◆ 開催概要

にち じ れいわ ねん がつ にち すいようび  
日 時：令和5年11月8日(水曜日)じ ふん じ ふん  
13時30分から 16時30分ば しょ けんりつさがみはらこうえん けんしゅうしつ  
場 所：県立相模原公園 研修室ない よう けっかほうこく  
内 容：  
・アンケートの結果報告  
・遊具体験会見学  
・事例紹介(都立砧公園)  
・意見交換さんかしゃ  
参加者：

- ・NPO法人相模原市障害児者福祉団体連絡協議会
- ・NPO法人フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会
- ・県立相模原支援学校PTA
- ・県立相模原支援学校 県立相模原中央支援学校
- ・県立相模原公園指定管理者

## 【アンケートの結果報告】

しょう どうじしゃ ほごしゃ しえんしゃ みなさま ゆうぐひろばせいび もと はあく じっし  
障がい当事者の保護者や支援者の皆様へ、遊具広場整備に求めていることなどを把握するために実施したアンケートの結果について報告しました。

## ●ご協力いただいた施設

- ・県立相模原支援学校
- ・県立相模原中央支援学校
- ・児童発達支援センター 青い鳥
- ・福祉型障がい児入所施設 相模はやぶさ学園



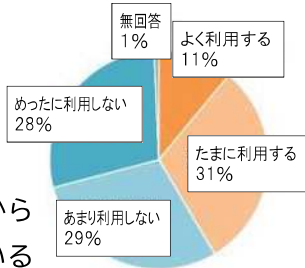
ワーキングの様子

## アンケート結果概要(ご協力いただいた人数 315人)

## ○子どもの遊具利用実態

## 〈公園の遊具利用頻度〉

- ▶全体では、約4割の子供が公園の遊具を利用
- ▶年齢別にみると9歳あたりから段々と遊具の利用が減っている



## 〈あまり公園の遊具を利用しない理由〉

- ▶障がいや原因で遊具を使用しにくい、使用できない
- ▶他の子どものトラブルが心配(順番待ちができない)
- ▶日陰や休憩場所が少ない
- ▶年齢制限(12歳まで)があり、遊具を使えない

## ○今後の広場整備への要望

## 〈遊具〉

- ▶肢体不自由など様々な障がいの子供が遊べる遊具や介助しやすい遊具
- ▶大きな子供でも遊べる難易度の低い遊具
- ▶「滑る」「揺れる」「音を楽しむ」遊具

## 〈その他の施設〉

- ▶木陰や屋根付きの休憩スペース
- ▶障がいへの理解を促す遊び場のルール掲示
- ▶多動性の子供が外に出ないような外周柵
- ▶大人でも使えるおむつ交換用のベッド

※このアンケートの結果は、県津久井治水センターホームページでもお知らせします。

## 【遊具体験会見学・意見交換】

11月1日～12日に相模原公園で行われた「だれもが一緒に遊べる遊具の体験会」を見学したほか、遊び場の整備を予定している場所などを確認し、気づいた点などについて、意見交換しました。

### ●主な意見

- ▶体験会では、遊び方が分かりやすい単体の遊具が複数設置されているのがよい。
- ▶体験会会場は、外周に柵があり、入口がはっきりしているのも、遊び場という雰囲気が出ていてよい。
- ▶インクルーシブに配慮しつつも、ワクワク感のある遊び場になるとよい。
- ▶遊具を使用できる年齢を12歳以上も可能と表示できないか。
- ▶子供たちが公園に行きたいと思えるようなマスコットの遊具やキャラクターがあるとよい。
- ▶一般的な遊具とインクルーシブな遊具のどちらもあって選んで遊べると、「誰もが遊べる」空間になる。
- ▶広場に小さな山やトンネルを造れば、年齢を問わず多様な遊び方ができる。
- ▶子供の見守りのため、広場の見通しは大切。また、広場の周りに柵があると安心。
- ▶風通しがよく、明るい遊び場にしてほしい。
- ▶日よけ、雨よけになる東屋などの休憩施設がほしい。
- ▶大人用のおむつ交換ベッドだけの個室があると、授乳など多様に使えるのでよい。

などのご意見をいただきました。



遊具体験会の様子



遊具体験会の見学状況



整備予定地や既存のトイレを再確認

## 【インクルーシブ遊具広場 事例紹介(都立 砧公園)】

東京都の砧公園の様子や、都庁の職員と砧公園の園長にヒアリングを行った結果を報告しました。



外周柵に囲まれた見通しの良いインクルーシブ遊具広場



外向き座りの回転遊具のため車いすから移乗しやすい



一般型とインクルーシブ型の両方の座面がある3連ブランコ

### ◆今後の予定

アンケートや遊具体験会などでいただいたご意見などを参考にしながら、「ともいき広場」の計画づくりを進めていきます。次回の会議では、「ともいき広場」の整備イメージについて検討する予定です。

### ◆問合せ先

神奈川県厚木土木事務所津久井治水センター 工務課公園班 電話 042-784-1111(代表) 令和6年1月